

貸借対照表

令和02年03月31日 現在

株式会社 Fun Japan Communications

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	269,801,024	【流動負債】	505,542,798
現金及び預金	88,913,535	買掛金	49,393,743
売掛金	169,318,232	短期借入金	400,000,000
プロジェクト費用	3,017,060	未払金	7,324,748
前払金	5,000,000	未払費用	17,517,217
立替金	10,670	預り金	5,774,228
未収入金	9,428	未払消費税等	21,387,700
前払費用	3,531,599	未払法人税等	950,000
預け金	500	賞与引当金	3,195,162
【固定資産】	335,181,184	【固定負債】	7,300,000
有形固定資産	1,436,016	資産除去債務	7,300,000
建物	2	負債の部合計	512,842,798
建物附属設備	796,803	純資産の部	
器具備品	639,211	科目	金額
無形固定資産	303,143,168	【株主資本】	92,139,410
ソフトウェア	134,832,564	資本金	100,000,000
のれん	168,310,604	資本剰余金	1,092,721,040
投資その他の資産	30,602,000	資本準備金	1,092,721,040
差入保証金	30,602,000	利益剰余金	△ 1,100,581,630
		その他利益剰余金	△ 1,100,581,630
		繰越利益剰余金	△ 1,100,581,630
		(うち当期純損失)	△ 236,866,586
		純資産の部合計	92,139,410
資産の部合計	604,982,208	負債・純資産の部合計	604,982,208

## 個別注記表

自 平成31年04月01日

至 令和02年03月31日

株式会社 Fun Japan Communications

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

プロジェクト費用…個別法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産…定率法を採用しております。ただし、建物及び附属設備については定額法を採用しております。

②無形固定資産…定額法を採用しております。

③一括償却資産…取得価額10万以上20万円未満の有形固定資産及び無形固定資産は3年間の均等償却としております。

なお、主な耐用年数は次の通りです。

建物、附属設備…3年～6年

器具備品…3年～6年

自社利用のソフトウェア…5年

のれん…8年

#### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金

賞与引当金は、出向者への賞与の支払いに備えるため、出向者に対する賞与の支給見込み額のうち当事業年度に帰属する額を計上しております。

#### (4) 収益及び費用の計上基準

収益は完成基準もしくは検収基準を適用しております。費用は、その支出に基づいた金額を収益に対応させて、発生した期間に応じて計上しております。

#### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

##### ①消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜処理によっております。

### 2. 貸借対照表に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額

16,836,996円

#### (2) 関係会社に対する債権及び債務

短期金銭債権

39,275,757円

短期金銭債務

7,123,446円

### 3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高	
売上高	273,048,977円
仕入高	20,301,768円
営業取引以外の取引による取引高	61,779,785円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当事業年度末における発行済み株式の数 15,000株  
発行株式はいずれもすべて普通株式であります。
- (2) 剰余金の配当に関する事項
- ①配当金支払額等  
該当事項はありません。
- ②基準日が当事業年度末に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度になるもの  
該当事項はありません。

5. 一株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額	6,080円65銭
一株当たり当期純損失金額	15,853円09銭

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はございません。

以上